



栗東市農業協同組合

代表理事組合長

佐野 宗 二

ごあいさつ

組合員の皆様には、平素よりJA栗東市の事業全般に亘り、多大なるご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

去る、6月23日に第53回通常総代会を開催させていただき全議案可決承認をいただきました。茲に、総代の皆様方をはじめ組合員の皆様方に心から御礼申し上げます。

平成29年度JAを取り巻く経営環境は、組合員の高齢化・人口減少等による経営基盤の縮小、マイナス金利政策の長期化等による資金収支の減少など大変厳しい状況が続く中、JA栗東市におきましても、将来に向けた費用負担の軽減を図るため、特別損失として農林年金の特例業務負担引当金122,741千円を繰入させていただきました。こうした要因もあって当期剰余金は36,046千円となり、昨年度より51,451千円の減少となりましたが、組合員の皆様にご心配をお掛けすることなく、事業分量配当金22,322千円を配当することが出来ましたことは、偏に組合員の皆様方のお蔭であり重ねて御礼申し上げます。

私たちJAグループは「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」として、自己改革を着実に実践し、組合員に高く評価され、組合員の参加・参画により支持される協同組合をめざしてまいります。役職員が諸情勢と危機感を共有し、自己改革の工程・進捗やJAの役割、総合事業の意義・必要性などをしっかりと組合員にお伝えし、ご理解を得る取組みを徹底して進めてまいりますので、今後ともご支援・ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

この度のJA栗東市の現況、ディスクロージャー誌は、組合員・利用者の皆様により透明性と健全性を確認していただくために発刊させていただきました。

私たち役職員は、今後一層のコンプライアンス（法令遵守）の徹底に努めて参ります。

結びになりますが組合員ご家族の皆様方のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

平成30年7月

